

平成14年12月 検定試験

〔No.22〕 SRSエア・バッグに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) デュアル・インフレーターは、衝突の大きさが小さいと、第1燃焼室のみの点火を行う構造になっている。
- (2) 助手席乗員検知システムの頭部検知センサの取付位置は、一般に座高検知センサより高い位置に取り付けられている。
- (3) 自動車がコンクリート壁に正面から衝突した場合、約20～30km/h以上の速度で作動するようになっている。
- (4) エア・バッグ・システムの点検は、誤作動を防止するため、事前にエア・バッグ・カプラの接続を外し、通電電流値が10mA以上のサーキット・テスタを用いて行う。